

野球|2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

2回戦 彦根東 3-2 甲西

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3
甲西	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2

打線奮わずも

1点差で逆転勝利

終盤に勝負強さをみせた



▲8回表に同点のランナーを返す犠牲フライを決めた森岡君



▶9回に代打で出場し安打を放った西前颯真君(3-5)

4月21日に湖東スタジアムで2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の2回戦が行われた。本校は甲西高校と対戦し3-2で勝利した。

▲中谷凌君(3-5)は7回から登板し、3回を無失点に抑えた。

1回表の本校の攻撃は打者三人で終わり、1回裏には相手に1点を先制された。先手を取られた本校は2回から4回と四球で走者が出るも、安打が出ず得点することはできなかった。チーム初安打が出たのは5回表、この回先頭の7番片山隼輔君(3-7)がライトの頭を越える二塁打を打ち無死二塁のチャンスを作った。その後犠打と四球で一死一、三塁となり、相手のエラーで走者が還って1-1の同点に追いついた。しかし6回裏の相手の攻撃、二死から連打とエラーで勝ち越しを許す。このままでは終われない本校は8回表に一死二、三塁として4番の森岡優仁君(2-3)が犠牲フライを打ち2-2と再び同点とした。同点のまま迎えた9回表、先頭打者の6番中川素晴君(3-3)が内野安打で出塁した。このあと盗塁と犠打で一死三塁とし、8番松下陽星君(3-4)の打球が相手のエラーを誘い逆転に成功した。そして9回裏の相手の攻撃を抑えて勝利した。この試合で本校はヒット

3本に終わったが四球や犠打、相手のエラーを活かして走者を進め、接戦を制した。

5回に二塁打を打ち同点のきっかけを作った片山君は「自分が何としてでも突破口を開こうと思っていた。全てのボールにフルスイングしていこうという気持ちだった」と打ち明け、「次の試合では楽に勝てるように修正を加えていきたい」と先を見据えた。

9回に代走で途中出場し、盗塁を決めて逆転のホームを踏んだ西田乗斗君(3-5)は9回のプレーについて「盗塁は自信を持ってスタートを切って成功した。松下が打つてくれると信じてホームインした」と明かした。先発投手の根元龍馬君(3-2)は「立ち上がりが苦手だったので意識して投げたのだが、打たれてしまった」と反省点を挙げ、「一試合しっかり投げられるようにしていきたい」と次への目標を掲げた。

監督の村中隆之先生はこの試合を「勝ちに不思議の勝ちあり、とはよく言ったもので自分たちのバッティングはできなかったが、結果ヒット3本で勝つことができた。これも自分たちの力だと思う」と振り返られた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号